

令和6年度第26回 契約・調達委員会 審査概要

開催日時 及び場所		令和6年12月19日（木）13:30～14:25 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階 公益財団法人日本陸上競技連盟内 A会議室/オンライン			
出席委員		世界陸上財団 事務次長（委員長） 遠松 秀将 弁護士 原澤 敦美 公認会計士 黒石 匡昭 世界陸上財団 総務部長 田近 隆 世界陸上財団 企画部長 白石 正樹 世界陸上財団 財務部長 前山 琢也 世界陸上財団 業務開発部長 小林あかね (敬称略・7名)			
審査案件	案件 1	東京2025世界陸上競技選手権大会における路上競技交通誘導警備等業務委託			
	契約方法	希望制指名競争入札			
	概要	○ 世界陸上大会における路上競技（マラソン、競歩）の安全確保を図るために、以下の業務を委託			
		<table><tr><td>交通誘導警備、 雑踏警備業務</td><td>コース沿道等に警備員（交通誘導警備・雑踏警備の資格保有者）や資機材（コーン、バー、看板等）を配置し、車両や観衆を安全に誘導</td></tr><tr><td>雑踏誘導業務</td><td>コース沿道等に雑踏誘導員を配置し、警備員と連携しながら、一般歩行者 や観衆を交通案内</td></tr></table>		交通誘導警備、 雑踏警備業務	コース沿道等に警備員（交通誘導警備・雑踏警備の資格保有者）や資機材（コーン、バー、看板等）を配置し、車両や観衆を安全に誘導
交通誘導警備、 雑踏警備業務	コース沿道等に警備員（交通誘導警備・雑踏警備の資格保有者）や資機材（コーン、バー、看板等）を配置し、車両や観衆を安全に誘導				
雑踏誘導業務	コース沿道等に雑踏誘導員を配置し、警備員と連携しながら、一般歩行者 や観衆を交通案内				
		○ 契約期間：契約確定の日の翌日から2025年10月31日まで			

案件 2	東京2025世界陸上競技選手権大会マスコット運営等業務委託	
契約方法	希望制指名競争入札	
概要	○ 世界陸上大会の認知度向上や盛り上げに寄与するマスコットの着ぐるみ（等身大マスコット）を様々なイベントで活用 するために必要な運営等の業務を委託	
	○ 主な委託内容は以下のとおり	
	出演ガイドラインの策定	等身大マスコットが出演する際の出演方針・基準など、出演時に遵守すべき内容を規定
	出演プラン等の策定	等身大マスコットの基本的な出演パターン等を記載した出演プランの策定及び進行台本の作成
	事務局の運営	事務局を設置し、等身大マスコットのスケジュール調整、操演、維持管理等の運営業務を実施
	等身大マスコットの廃棄	大会終了後、等身大マスコット3体を廃棄
○契約期間：契約確定の日の翌日から2025年12月26日まで		
案件 3	東京2025世界陸上競技選手権大会イベントプレゼンテーション等実施計画策定及び運営業務委託	
契約方法	一般競争入札（総合評価方式）	
概要	○ 世界陸上大会が観客や選手にとって記憶に残る大会となるよう、観客の盛り上げにつながる効果的な演出や開閉会式、表彰式を実施	
	○ 主な委託内容は以下のとおり	
	イベントプレゼンテーション	会場における競技前の観客盛り上げや選手入場時の演出等に係る実施計画の作成と運営
	開閉会式	開会式及び閉会式に係る実施計画の作成と運営
	表彰式	表彰式及びインスタントメダルの授与に係る実施計画の作成と運営
	○ 入札価格に加えて、本業務の履行能力等を総合的に判断して落札者を決定するため、契約方法は総合評価方式の一般競争入札を採用	
○ 契約期間：契約確定の日の翌日から2025年12月26日まで		

審査結果	➤ 案件 1 について、契約手続前（仕様の内容、予定価格、契約方法等）の審査を実施し、了承された。 ➤ 案件 2 ～ 3 ついて、契約締結前（入札経過、契約候補者、契約金額等）の審査を実施し、了承された。
委員の 主な意見 (要旨)	(案件 1 について) ○黒石委員 本契約は、交通誘導を担う警備員や雑踏誘導を行うスタッフを配置することが主な業務であるが、この警備員やスタッフの配置人数は、仕様書に規定しているのか。 ⇒ 所管部 仕様書そのものではないが、公表している見積参考資料に現時点の想定人員を明記している。このほか、入札希望者には、先行契約の成果物である「警備配置計画」を提供し、これを参考に必要な人員を配置してもらうようになっている。 ⇒ 黒石委員 各社に想定人員を示しているということは、下見積の段階での差は単価差のみか。 ⇒ 所管部 事業者によっては、単価差に加えて、警備員を配置する時間帯も異なっている。財団では、朝 6 時からの配置を想定しているが、事業者によっては、業務の円滑な履行を図るため、より早い時間帯から配置することを考えている。こうした点で、下見積の金額差が生じている。 ○原澤委員 下見積を提出した 3 事業者の金額を見ると、交通規制・資機材費や管理運営費等の内訳に大きな差がある。この内訳の金額差が生じている理由は何か。 ⇒ 所管部 交通規制・資機材費については、安価な資機材の供給先を有している事業者とそうでない事業者との間で金額差が生じている。 また、管理運営費等については、マラソン・競歩の警備業務の経験・ノウハウが乏しい事業者の管理コストが高くなっている。 項目ごとに事業者によって金額差は出ているものの、いずれも内容を確認し、問題はないと考えている。

(案件 2 について)

○原澤委員

落札事業者は、下見積よりも低い価格で入札しており、大分低い落札率となっている。減額箇所から推測するに、この減額は企業努力によるものと考えられるが、低価格での契約となるため、契約後は、適切に履行されているかなど、履行の品質を注視してほしい。

○黒石委員

価格競争の結果、入札参加事業者は、いずれも下見積金額よりも低い価格で入札している。落札事業者の入札額の内訳などをみると、減額内容はおかしいというほどでもない。

(案件 3 について)

○黒石委員

この契約は、技術点が非常に重要視される案件だと思うが、技術審査委員会では、どのように各社の技術提案を評価したのか。また、最高点を獲得した落札事業者は他の事業者よりも具体的にどの点が優れていたのか、教えてほしい。

⇒ 所管部

技術審査委員会の委員長を務めた立場から説明する。5 人の委員の中で、アイデアを生かした積極的な提案を重視するのか、それとも標準的な内容ではあるが、堅実な提案を重視するのかで評価が分かれたが、落札事業者については、最も配点の高いイベントプレゼンテーションの演出において、知見やノウハウを活かした効果的な運営が期待できる点や、経験豊かなスタッフを配置できる点などが、他よりも優れていると評価されたと考えている。

委員の
主な意見
(要旨)

○原澤委員

当初入札と再度入札（第１回目）において、いずれも入札価格が予定価格を超過して入札不落となっている。また、下見積を提出した５社のうち、４社が入札に参加しなかったのは異例といえる。入札に参加しなかった事業者に対して、入札に参加しなかった理由を確認してほしい。

⇒ 事務局

下見積事業者の入札不参加理由については、落札決定後に、調査したい。

【落札決定後に調査：下見積事業者の入札不参加理由】

- 下見積提出後に、他のイベント等に参加したことにより、本事業の履行に必要な運営体制を確保できないと判断
- イベント実績を有し、専門スタッフの配置が可能な親会社が入札参加
- 下見積提出後に、活用を予定していた協力事業者のスタッフを確保できなくなったため
- 万博の開催に伴い、運営スタッフや十分な人材（クリエイター等）の確保ができなくなり、運営体制を構築することが困難と判断